

青森県立高等学校教育改革推進計画
基本方針検証会議報告書

令和2年5月26日

青森県立高等学校教育改革推進計画基本方針検証会議

1 青森県立高等学校教育改革推進計画基本方針検証会議の設置趣旨

青森県立高等学校教育改革推進計画基本方針検証会議（以下「検証会議」という。）は、令和5年度から令和9年度までを計画期間とする青森県立高等学校教育改革推進計画第2期実施計画（以下「第2期実施計画」という。）の策定に当たり、その基本的な考え方を示す青森県立高等学校教育改革推進計画基本方針（以下「基本方針」という。）について、改めて確認し必要に応じて見直しを図ることを目的として設置された。

当検証会議は、令和2年3月から2回開催し、これまでの青森県教育委員会における取組等を確認し、基本方針見直しの必要性等について協議、検討したので、次のとおり報告する。

2 検証の進め方

検証に当たっては、青森県立高等学校将来構想検討会議答申（以下「答申」という。）を踏まえ、基本方針や青森県立高等学校教育改革推進計画第1期実施計画（以下「第1期実施計画」という。）に基づき、県教育委員会においてどのように取り組んできたのかを確認した。

その上で、中学校卒業（予定）者数の推移等、高等学校を取り巻く環境の変化に対応し、本県の未来を担う人財を育成するための教育環境の整備に向け、基本方針見直しの必要性等について検討した。

3 答申を受けた県教育委員会の取組に係る評価

（1）県立高等学校教育改革推進計画の背景等

《答申》

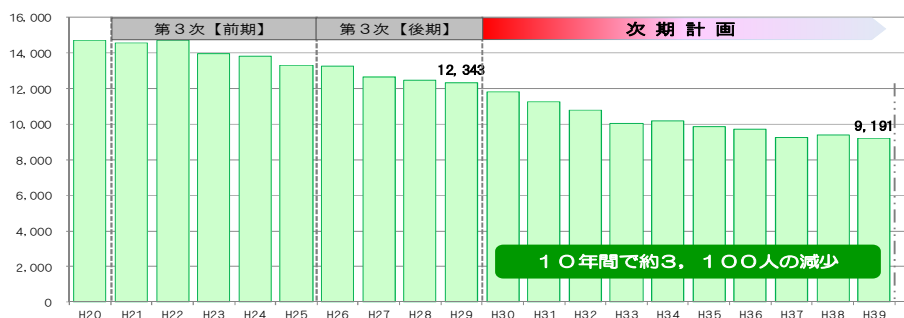
①グローバル化・情報化による社会の急速な変化

生涯にわたって学び続け、知識や情報を活用しながら「答えのない課題」に、主体的・協働的に取り組み課題を解決できる人財が求められている。

（国の制度改革→学習指導要領等の改善・大学入学者選抜制度の改革 等）

②生徒の多様化（高校進学率99.0%、大学進学率44.0%）

③生徒数の減少（中学校卒業（予定）者数の推移）



《評価》

- 県立高等学校教育改革の前提となる中学校卒業予定者数が、答申作成時では、平成29年3月から令和9年3月までの10年間で約3,100人減少する見込みであったが、当時の推計とほぼ乖離のない状況を確認できた。

(2) 学校・学科の在り方

《答申》

1 全日制課程

(1) 普通科等

- ◇各高校が連携し、大学進学や就職への対応等、幅広い教育を提供
- ◇グローバル教育や理数教育等に重点的に取り組む学校の設置や各高校の特色化の推進

(2) 職業教育を主とする専門学科

- ◇基礎的・基本的な知識・技能、職業の多様化に対応できる資質・能力の育成
- ◇各専門分野における幅広い学習内容を提供する学校の設置や各高校が連携する体制の整備

(3) 総合学科

- ◇多様な進路志望に対応できる教育課程の編成や主体的な学習の充実
- ◇生徒のニーズを踏まえた系列の見直し

2 定時制課程・通信制課程

- ◇様々な事情を抱える生徒に高校教育を受ける機会を提供
 - [定時制] スクールソーシャルワーカー等専門スタッフの配置の充実
 - [通信制] 後期入学制度の導入
- ◇現状の6地区への配置の考え方を基本に充実

3 多様な教育制度

- [全日制普通科単位制] 導入校における充実を図るとともに、進路志望等の達成に向け、新たな導入について検討
- [中高一貫教育]
 - ・連携型…今後の在り方について検討
 - ・併設型…新たな設置については、地区の中学校の生徒数等を考慮し判断
- [総合選択制] 各学科の専門性を生かした幅広い教育活動のさらなる充実

《評価》

- 第1期実施計画に基づき各事業や学科改編等を実施しており、これらは答申が示す趣旨と合致していることから、引き続き取り組んでもらいたい。
- 重点校・拠点校について、その果たす役割を周知するとともに、機能の一層の充実に取り組んでもらいたい。

(3) 学校規模・配置

《答申》

1 学校規模・配置の検討に当たって考慮すべき観点

- ◇ 高校教育を受ける機会の確保
 - ・ 各地区における中学生の進路の選択肢の確保
 - ・ 通学環境への配慮
- ◇ 充実した教育環境の整備
 - ・ 各高校に共通して求められる教育環境の整備
 - ・ 普通科等の重点校の設置
 - ・ 職業教育を主とする専門学科の拠点校の設置

2 学校規模の方向性

- ◇ 学校規模の標準
- ◇ 通学環境に配慮した対応

3 学校配置の方向性

- ◇ 学校配置の考え方
 - ・ 必要に応じて地域の意見を伺う機会を設定
- ◇ 通学環境に配慮して配置する高校への対応
 - ・ 募集停止や統合を検討することとなる具体的な基準の観点
 - ・ 所在市町村等との連携によるスクールバスの運行、通学費補助（奨学金での対応を含む。）等の支援策の検討
- ◇ 統合の方法
 - ・ 開設準備委員会（仮称）等の設置
 - ・ 異なる学科の高校の統合による複数の学科を有した高校の設置

《評価》

- 学校規模の標準について、生徒数が減少する中であっても、生徒一人一人にこれからの時代に求められる力を育むため、今後も取組を継続してもらいたい。
- 基本方針に定める基準等に該当した地域校については、中学生の進路選択に不安を与えないような対応について検討してもらいたい。
- 第2期実施計画の策定に当たって、第1期実施計画同様、地域の御意見を伺うことが非常に大切であり、地区意見交換会を実施するとともに、統合がある場合は開設準備委員会を開催し、関係者の御意見を伺いながら取り組んでももらいたい。
その際、様々な御意見にも耳を傾けながら、県民と協力して取り組んでいく姿勢が必要だと考える。

(4) 各地区の学校配置等に関する基本的な方向性

《答申》

	東青	西北	中南	上北	下北	三八
学級数増減 見込 ^{※1}	△13～△15 学級	△8～△10 学級	△9～△11 学級	△10～△12 学級	△3～△5 学級	△6～△8 学級
H39(R9) 学級数見込	39～41 学級	17～19 学級	33～35 学級	31～33 学級	12～14 学級	36～38 学級
重点校	設置	設置 ^{※2}	設置	設置	設置 ^{※2}	設置
拠点校	設置 (工業・商業)	設置 (農業)	設置 (工業)	設置 (農業)	—	設置 (工業)
その他	総合学科は、既設の4地区での配置を継続。 複数学科を有する高校の新たな設置について検討。					

※1 平成29年度と平成39年度（令和9年度）の学級数の見込みを比較。

※2 西北地区及び下北地区の重点校は6学級未満の規模であっても柔軟に対応。併せて単位制の導入を検討。

《評価》

- 学校配置に当たっては、毎年の中学校卒業予定者数を確認した上で、第1期実施計画に基づき進められており、今後も継続して取り組んでもらいたい。

(5) 魅力ある高等学校づくりに向けて

《答申》

1 学校・家庭・地域等との連携の推進

- ◇高校間の連携
- ◇小学校や中学校との連携
- ◇特別支援学校との連携
- ◇大学等との連携
- ◇家庭・地域等との連携

2 教育活動の充実に向けた取組

- ◇各学校の魅力化と情報発信
- ◇教員の資質向上と教職員定数等の見直し
- ◇ICTの活用による教育活動の充実
- ◇施設・設備の充実
- ◇全国からの生徒募集

3 本県高等学校教育の充実に向けた継続的な検証

- ◇生徒や保護者等を対象とした高等学校教育に関する意識調査等の実施

《評価》

- 統合等について、どのような効果があったのかなど継続的な検証が必要であり、基本方針、第1期実施計画に掲げる取組を大切にしてもらいたい。
- 全国的に中学校卒業予定者数が減少していく中で、生徒の教育環境の充実を図るため、答申策定時と比べ全国からの生徒募集を導入している都道府県が増加しているとともに、高等学校が所在する市町村等が中心となり、高等学校の魅力化に取り組み、全国から生徒を募集した結果、高等学校の活性化が図られた事例もあった。

このことから、多様な価値観に触れる機会を確保するなど本県の生徒にとってより充実した教育環境の実現という視点を踏まえた上で、全国からの生徒募集の導入について検討してもらいたい。

4 第2期実施計画策定に向け検討を期待する取組

これまでの検証・協議を踏まえ、第2期実施計画の策定に当たっては、以下の点について基本方針の見直しを含めて検討がなされることを期待する。

(1) 重点校、拠点校における連携の推進

- 重点校、拠点校は、各高等学校と連携しながら県全体の教育力を維持し、更に向上させるため一定の規模を維持して配置したものであり、この取組は継続していくべきと考える。
- また、重点校、拠点校の連携の状況を積極的にアピールしていくとともに、重点校、拠点校と周辺の高等学校との円滑な連携に向け、その体制づくりを進めてもらいたい。

(2) 中学生の進路選択への配慮

- 基本方針に定める基準等に該当した地域校については、中学生の進路選択に不安を与えないような対応を検討してもらいたい。

(3) 全国からの生徒募集の導入

- 全国からの生徒募集を導入している都道府県が近年増加しているとともに、高等学校が所在する市町村等が中心となり、全国から生徒を募集した結果、高等学校の活性化が図られた好事例もあることから、本県の生徒にとってより充実した教育環境の実現という視点を踏まえた上で、全国からの生徒募集の導入について検討してもらいたい。

附 属 資 料

- 1 青森県立高等学校教育改革推進計画基本方針検証会議設置要綱
- 2 青森県立高等学校教育改革推進計画基本方針検証会議委員名簿
- 3 青森県立高等学校教育改革推進計画基本方針検証会議の協議経過
- 4 青森県立高等学校教育改革推進計画基本方針検証会議における主な意見
- 5 青森県立高等学校教育改革推進計画におけるこれまでの取組状況

1 青森県立高等学校教育改革推進計画基本方針検証会議設置要綱

(設置)

第1 青森県立高等学校教育改革推進計画基本方針について、社会の変化等を踏まえ検証するため、青森県立高等学校教育改革推進計画基本方針検証会議（以下「検証会議」という。）を設置する。

(所掌事務)

第2 検証会議は、次に掲げる事項について検証し、青森県教育委員会教育長（以下「教育長」という。）に報告する。

- (1) 青森県立高等学校教育改革推進計画基本方針に基づく県教育委員会の取組に関すること。
- (2) その他青森県立高等学校教育改革推進計画に関すること。

(組織)

第3 検証会議の委員は、別記に掲げる者のうちから教育長が委嘱する。

- 2 検証会議に委員長及び副委員長を置く。
- 3 委員長及び副委員長は、委員の互選による。
- 4 委員長は、検証会議を主宰する。
- 5 副委員長は、委員長を補佐し、委員長に事故があるとき、又は委員長が欠けたときは、その職務を代行する。

(任期)

第4 委員の任期は、委嘱した日から令和2年6月30日までとする。

(会議)

第5 検証会議は、教育長が招集する。

(庶務)

第6 検証会議の庶務は、青森県教育庁高等学校教育改革推進室において処理する。

(その他)

第7 この要綱に定めるもののほか、検証会議の運営に関し必要な事項は、別に定めるものとする。

附 則

この要綱は、令和2年1月30日から施行する。

別記

検証会議委員

- | |
|------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| <ol style="list-style-type: none">1 青森県立高等学校将来構想検討会議委員であった者2 その他教育長が特に必要と認める者 |
|------------------------------------------------------------------------------------------------------|

2 青森県立高等学校教育改革推進計画基本方針検証会議委員名簿

(敬称略)

委員名	役職等	備考
香取 薫	青森公立大学 学長 (元青森県立高等学校将来構想検討会議 議長)	委員長
古山 哲司	元県立弘前高等学校 校長 (元青森県立高等学校将来構想検討会議 中南地区部会長)	
佐井 憲男	元県立五所川原高等学校 校長 (元青森県立高等学校将来構想検討会議 西北地区部会長)	
相馬 俊二	元県立むつ工業高等学校 校長 (元青森県立高等学校将来構想検討会議 下北地区部会長)	
瀧本 壽史	弘前大学大学院教育学研究科教職実践専攻 (教職大学院) 教授 (元青森県立高等学校将来構想検討会議 副議長)	副委員長
斗沢 一雄	元県立名久井農業高等学校 校長 (元青森県立高等学校将来構想検討会議 三八地区部会長)	
長谷川 光治	元県立三本木高等学校 校長 (元青森県立高等学校将来構想検討会議 上北地区部会長)	
三上 順一	元県立青森高等学校 校長 (元青森県立高等学校将来構想検討会議 東青地区部会長)	

3 青森県立高等学校教育改革推進計画基本方針検証会議の協議経過

回	年月日	内容
1	令和2年3月25日	○ 青森県立高等学校将来構想検討会議答申を受けた県立高等学校教育改革の取組状況及び課題確認
2	令和2年5月11日	○ 委員の意見に基づく検討事項 ○ 検証結果の整理

4 青森県立高等学校教育改革推進計画基本方針検証会議における主な意見

(1) 第1回検証会議における主な意見

① 学校・学科の在り方

- 重点校や拠点校の取組として、スーパーグローバルハイスクールやスーパーサイエンスハイスクールなど様々な取組があるが、学校の教員、特に理科・数学の教員の負担が増えないよう県教育委員会において教員の増員配置を行うなどの配慮をしてほしい。
- 重点校や拠点校は、各高等学校と連携しながら県全体の教育力を維持し、更に向上させるため一定の規模を維持して配置したものであり、この取組は基本的に残していくべきと考える。
- 重点校の取組について、重点校において様々な事業を進め、その事業に他の学校が参加していくという事業参加型と、周辺の学校が「実施したい、支援してほしい」と考えることに対して、重点校が人材、物資両面や成果の活用も含めて支援していくという双方向型の2つのパターンがある。このような重点校や拠点校が果たす役割を積極的にアピールするとともに、周辺の高等学校の学校経営も考慮し、連携していく体制づくりが必要と考える。
- 重点校に現在導入している単位制や併設型中高一貫教育については、引き続き取り組んでもらいたい。
- 地区意見交換会では重点校に生徒が集中し、周りの学校の定員割れが更に進むのではないかという意見もあったが、令和2年度入学者選抜において再募集となった重点校があったことから、その懸念は当たらず、むしろ重点校の考え方が浸透していないのではないか。
- 重点校、拠点校の配置等については第1期実施計画どおり行われているが、「県全体の普通科等の質の確保・向上を図るための重点校と各高校との連携」及び「県全体の職業教育を主とする専門学科の質の確保・向上を図るための拠点校と各高校との連携」が重点校、拠点校配置の大きな目的でもあるので、その連携の状況を分かりやすく、もっとアピールしても良いのではないか。

② 学校規模・配置

- 基本となる学校規模を1学年当たり4学級以上、重点校は6学級以上、拠点校は1つの専門学科で4学級以上としている学校規模の標準は、学校の活力の面から成果があると考えられるため、今後も続けていただきたい。
- 第1期実施計画で配置した地域校のうち、青森北高等学校今別校舎等が令和2年度募集停止となり非常に残念である。この背景に、少子化が地域において非常に進んでいることや高等学校教育に関する意識調査の結果にあるように、文化祭や部活動等の教育活動の活性化について懸念があるため、なかなか生徒が集まらない状況になっていると考える。

- 開設準備委員会について、中南地区統合校開設準備委員会の検討状況においては、当初、各自が関係する学校への思いが非常に強く、その思いを意見として述べるような雰囲気であったが、協議を重ねていくうちに「新しい統合校に対して、自分たちが関わってきた学校の特色を是非生かしてほしい」と「地域の子どもたちが夢をかなえる多様な選択ができるような学校を作っていきたい」という2つのスタンスで協議が進み、順調に会議を終えることができたと思う。
- 青森県立高等学校将来構想検討会議では、小規模校は、生徒数が少ないことから、より目が届き、きめ細かい指導が可能となる一方で、少人数により、部活動・学校行事・学校生活を維持していくための日々の活動に問題が生じることについて議論されてきた。これらのことを、教員・生徒は、様々な工夫で解決し、学校生活を送っているが、一番の問題は、生徒数の減少から教員数も減り、教科の専門教員を配置できず、教科指導の面での問題が生じることである。生徒の可能性を伸ばすためには、多くのことを経験できる環境を提供するためにもある程度の規模の学校が必要だと考える。
- 高等学校教育に関する意識調査（90頁）では「小規模化しても残した方が良い」という回答が生徒・保護者ともに平成26年調査と比較して10%近く減少している。これは、生徒一人一人ときめ細かく向き合うことに、全ての高等学校が努力していることの理解が進んだためだと考えられる。

③ 魅力ある高等学校づくりに向けて

- 以前は、学級の増減が前年度の10月頃に分かり、慌てて次年度の対応をしていく形であったが、第1期実施計画からは翌々年度分の募集人員の見込みを含めて公表しているということなので、良い取組だと思う。
- 翌々年度分の募集人員の見込みを公表していることによって、中学生が見通しを持って進路選択ができると思う。継続して進めていただきたい。
- 全国からの生徒募集を実施している高等学校において入学者数が増えているのは、寮の整備や寮費を補助するなど、その地域の団体や市町村が県外生徒に係る経費を補助しているからだと思う。県外生徒を地域に溶け込ませるために、様々な行事を企画し参加させるなどといった工夫もしているが、全国募集を行うに当たっては、金銭的な補助が課題になるのではないか。
- 他県では県外生徒をうまく募集している好事例もあるが、本県の生徒にとって、より充実した教育環境の実現という視点が必要となる。
- 高等学校の魅力化を図って全国から生徒が入学すれば、高等学校が更に活性化し、本県の生徒のためになっていく。

(2) 第2回検証会議における主な意見

① 総合学科における教育活動

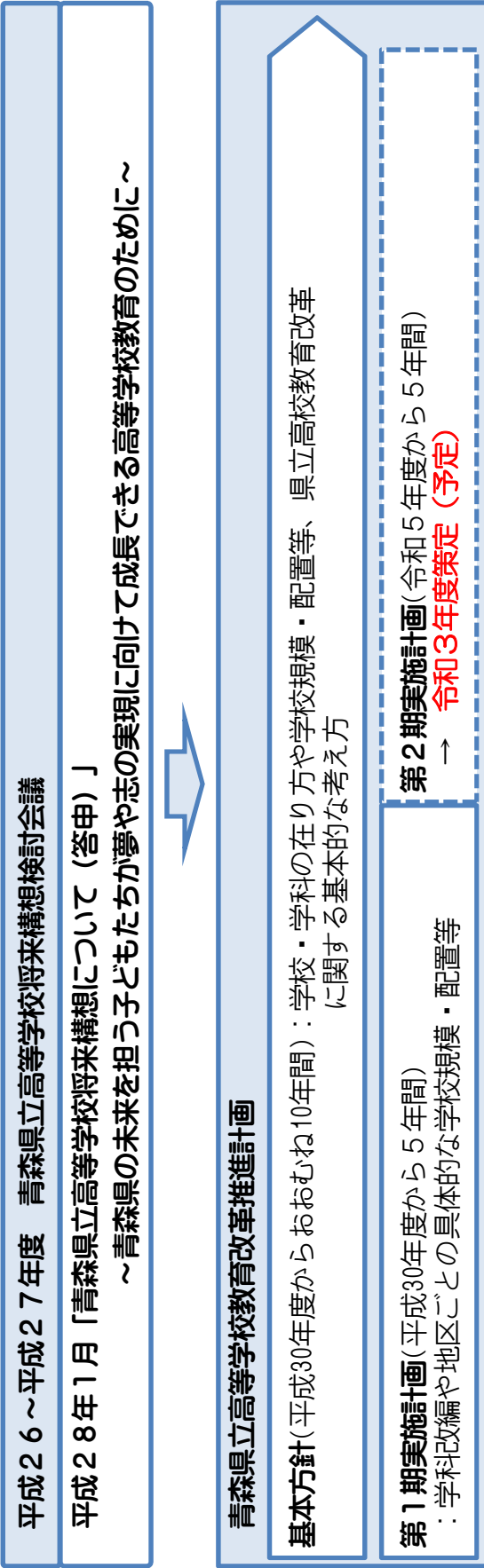
- 総合学科が設置された当初は、生徒が自分たちで時間割を作成することから生じる問題や科目が多いことによる教員の負担増の問題などがあった。現在、答申を踏まえて、第1期実施計画のとおり進んでいることが確認できたので、引き続き、総合学科における教育活動の充実に努めていただきたい。
- 選択科目が生徒の多様なニーズに対応しているか、最終的な進路に結びつく科目になっているかなどの観点により、引き続き、総合学科の検証を進めてほしい。

② 全国からの生徒募集

- 本県において全国からの生徒募集を導入する場合、八戸水産高等学校や三本木農業高等学校などの特色ある学科を設置している高等学校であれば県外生徒は集まりやすいのではないかと考える。
- 基本的には全国からの生徒募集については導入の検討を進めてほしいと考えるが、導入に当たっては、今後の本県の高等学校教育の在り方にもどう影響していくのかという視点を踏まえる必要がある。
- グローバル化が進展する今だからこそ、県の垣根を越えて全国の中で本県の子どもたちに質の高い教育を提供していく必要がある。
- 普通科や職業教育を主とする専門学科など、今後の本県の高等学校教育の枠組みを考えていく上で、全国からの生徒募集という観点を取り入れることにより、新たな枠組みを展開していけるのではないかと考える。
- 本県の私立高等学校において、既に全国又は世界からの生徒募集を実施しており、大学においても全国から学生が集まっている状況にある。県立高等学校も全国的な視野を持つ必要がある。
- 全国からの生徒募集の導入方法は様々あると思うが、是非導入に向けた検討を進めてほしい。その場合、様々な御意見を伺いながら、子どもたちのニーズ等を把握するなどの観点により、検討してもらいたい。

5 青森県立高等学校教育改革推進計画におけるこれまでの取組状況

1 青森県立高等学校教育改革推進計画の構成等



2 第1期実施計画策定の経緯

時期	取組等
平成26年6月	青森県立高等学校将来構想検討会議へ諮問
平成28年1月	同会議の答申
5月	青森県立高等学校教育改革推進計画基本方針(案)公表
5月～6月	地区懇談会(県内6地区)開催、パブリック・コメント実施
8月	青森県立高等学校教育改革推進計画基本方針策定
平成28年9月 ～平成29年1月	地区意見交換会(県内6地区)各3回実施 (全市町村教育委員会教育長、PTA関係者等で組織)
平成29年4月 4月～6月	青森県立高等学校教育改革推進計画第1期実施計画(案)公表 地区懇談会(県内6地区延べ17回)開催、パブリック・コメント実施
7月	青森県立高等学校教育改革推進計画第1期実施計画策定

3 青森県立高等学校将来構想検討会議答申（H28. 1月）の背景等

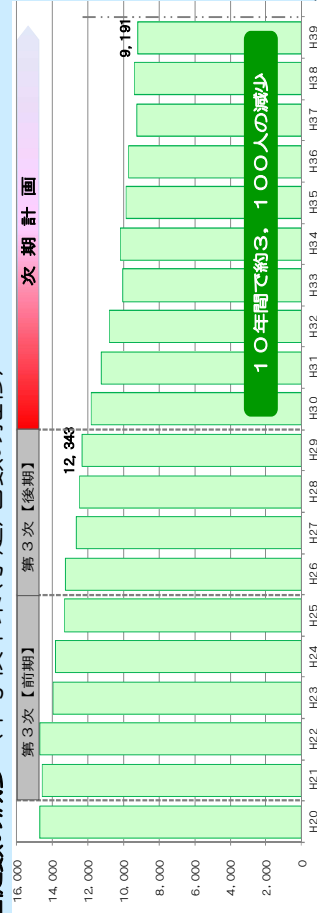
<背景>

①グローバル化・情報化による社会の急速な変化

・生涯にわたって学び続け、知識や情報を活用しながら「答えのない課題」に、主体的・協働的に取り組み課題を解決できる人材が求められている。
 （国の制度改正→学習指導要領等の改善・大学入学選抜制度の改革等）

②生徒の多様化（高校進学率99.0%、大学進学率44.0%）

③生徒数の減少（中学校卒業（予定）者数の推移）



<各学校の特色を生かして育成すべき人材>

① 地域を支える人材

全ての生徒に共通して求められる市民性を身に付け、地域における課題の解決に関わるなど、地域を支える人材

② 社会を牽引する人材

問題解決のための強い意欲や能力等を身に付け、将来、青森県はもとより、国内外でリーダーとして活躍する人材

③ 産業の発展に貢献する人材

技術革新の進展等に対応した、より専門的な知識・技能を身に付け、それらを活用し、産業の発展に貢献する人材

<これからの時代に求められる力>

生きる力

確かな学力

豊かな心

健やかな体

本県が重視する力

夢や志を持ち、より高い目標に向かって果敢にチャレンジする「逞しい心」

学校から社会への円滑な移行に必要な力

郷土に誇りを抱き青森県の未来を力強く支えようとする心

<「オール青森」の視点による検討>

一つの学校、一つの地域という視点だけではなく、学校と学校、学校と産業界、家庭、地域等が連携し、県全体が一丸となって高校教育を推進

《検討の内容》

学校・学科の在り方

各地区の学校配置等に関する基本的な方向性

学校規模・配置

魅力ある高等学校づくりに向けて

4 青森県立高等学校教育改革推進計画の取組状況

<1 学校・学科の在り方>

○ 青森県立高等学校将来構想検討会議答申の概要

1 全日制課程

(1) 普通科等

- ◇各高校が連携し、大学進学や就職への対応等、幅広い教育を提供
- ◇グローバル教育や理数教育等に重点的に取り組む学校の設置や各高校の特色化の推進

(2) 職業教育を主とする専門学科

- ◇基礎的・基本的な知識・技能、職業の多様化に対応できる資質・能力の育成
- ◇各専門分野における幅広い学習内容を提供する学校の設置や各高校が連携する体制の整備

(3) 総合学科

- ◇多様な進路志望に対応できる教育課程の編成や主体的な学習の充実
- ◇生徒の二一スを踏まえた系列の見直し

2 定時制課程・通信制課程

- ◇様々な事情を抱える生徒に高校教育を受けられる機会を提供
[定時制] スクールソーシャルワーカー等専門スタッフの配置の充実
[通信制] 後期入学制度の導入
- ◇現状の6地区への配置の考え方を基本に充実

3 多様な教育制度

- [全日制普通科単位制] 導入校における充実を図るとともに、進路志望等の達成に向け、新たな導入について検討
[中高一貫教育]
- ・連携型…今後の在り方について検討
- ・併設型…新たな設置については、地区の中学校の生徒数等を考慮し判断
[総合選択制] 各学科の専門性を生かした幅広い教育活動のさらなる充実

全ての高校に共通して求められる教育環境

基本方針	第1期実施計画	取組状況
<p>各高校における教育環境の充実</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 次のような教育活動の充実に向け教育環境を整備 <ul style="list-style-type: none"> ・ 基礎的・基本的な知識・技能の確実な定着 ・ 課題の発見と解決に向けた主体的・協働的な学びの実践 ・ 社会人・職業人として自立するために必要な能力や態度の涵養 ・ 本県高校教育全体の質の確保・向上に向けた各高校の連携による特色ある教育活動の実施 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 課題の発見と解決に向けた主体的・対話的で深い学びの実践 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 以下の事業等を実施 【深い学びにより主体的に未来を切り拓く高校生育成事業】 <ul style="list-style-type: none"> 研究指定校での実践研究や大学・企業との連携した体験学習の実施により、深い学びの視座に基づき探究型学習を推進 【未来社会を切り拓く高校生の資質・能力育成事業】 <ul style="list-style-type: none"> 研究指定校での実践研究や研究成果発表会の実施により、地域課題解決に向かう資質・能力の育成を推進 【青森県の将来を担うグローバル人財育成事業】 <ul style="list-style-type: none"> 英語力向上のための指導・評価モデルの作成と海外研修により、国際社会で活躍できる実践力を持った人財を育成 【「地域のお宝」を学び地域活動を担う高校生育成事業】 <ul style="list-style-type: none"> 小・中学生、シニア世代等との協働による体験活動等により、地域への愛着と誇りを持って地域活動に参加し、地域の魅力を発信できる高校生を育成 【総合学校教育センターにおける研修講座等の実施】
<ul style="list-style-type: none"> ○ 社会人・職業人として自立するために必要な能力や態度の涵養 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 社会人・職業人として自立するために必要な能力や態度の涵養 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 以下の事業等を実施 【高校と県内企業の連携ネットワーク強化事業】 <ul style="list-style-type: none"> 高校と県内企業のネットワーク強化、就職後の将来像を助言する企業人アドバイザーの派遣等により、高校卒業生の県内定着を推進 【地域の産業とビジネスを支える人づくり事業】 <ul style="list-style-type: none"> 地域企業と連携した地域課題解決学習を通じた能力向上と高度資格取得の推進等により、地域産業とビジネスを支える人財を育成 【地域と連携したキャリア教育推進事業】 <ul style="list-style-type: none"> 高校と県内企業の理解促進のための講演会、企業訪問や交流会等の実施により、高校生の職業観・勤労観を育成 【地域を支えるモノづくり・人づくりプロジェクト事業】 <ul style="list-style-type: none"> 地域企業と連携した地域課題解決学習を通じた能力向上と高度資格取得の推進等により、地域産業を支える人財を育成
<ul style="list-style-type: none"> ○ 発達障害等の特別な支援を必要とする生徒への対応（通級による指導の展開） 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 発達障害等の特別な支援を必要とする生徒への対応（通級による指導の展開） 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 以下の事業等を実施 【高等学校における特別支援教育体制強化事業】 <ul style="list-style-type: none"> アドバイザーの派遣等による高校における校内支援体制の構築や教職員を対象とした研修会等により、発達障害等特別なニーズを有する高校生の学びを支援 【北斗高等学校への通級指導の導入（平成30年度）】

全日制課程の方向性（普通科等）

基本方針	第 1 期実施計画	取組状況												
<p>普通科等</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 特色ある教育活動の推進とキャリア教育の充実 ○ 生徒の幅広い進路志望に対応するための各高校の連携 ○ 普通科系の専門学科における検証及び設置意義の見直し <p>《重点校の配置》</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 今後求められる人材の育成に向けた特色ある教育活動の中核的な役割を担う重点校の配置 ○ 県全体の普通科等の質の確保・向上を図るための重点校と各高校との連携 ○ 単位制や併設型中高一貫教育の拡充について検討 <p>《多様な教育制度の充実》</p> <p>（中高一貫教育）</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 連携型…今後の在り方を検討 ○ 併設型…新たな設置については、市町村等の意向や地区の中学校の生徒数等を考慮しながら検討 <p>（全日制普通科単位制）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 進路志望等の達成に資することができる場合には新たな導入について検討 	<p>普通科等 （各校の教育環境の充実）</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 各校の情報共有等による生徒の幅広い進路志望への対応や特色ある教育活動の充実 ○ グローバル人材・科学技術人材の育成に向けた取組等の推進 ○ 今後求められる人材の育成に向けた特色ある教育活動の中核的役割を担い、一定の規模を有する重点校の配置 <table border="1" data-bbox="582 900 667 1563"> <tr> <td>東青</td> <td>西北</td> <td>中南</td> <td>上北</td> <td>下北</td> <td>三八</td> </tr> <tr> <td>青森</td> <td>五所川原</td> <td>弘前</td> <td>三本木</td> <td>田名部</td> <td>八戸</td> </tr> </table> <ul style="list-style-type: none"> ◆ 県全体の普通科等における教育の質の確保・向上を図るため、各校の連携により、生徒の進路志望の実現に向けた確かな学力の育成に積極的に取り組むことができる体制を整備 ◆ 地区の実情から 5 学級規模であっても重点校としての役割を果たす必要がある田名部高校に単位制を導入するとともに、その他の重点校に併設型中高一貫教育を第 2 期以降の実施計画において導入すること等について検討 <p>（学科改編等）</p> <p>＜英語科＞</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 英語科（三沢高校・田名部高校）を普通科に改編 <p>＜その他の学科＞</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 理数科、外国語科、スポーツ科学科、表現科については、引き続き検証し、その結果に応じて見直し 	東青	西北	中南	上北	下北	三八	青森	五所川原	弘前	三本木	田名部	八戸	<ul style="list-style-type: none"> ○ 第 1 期実施計画どおり実施 <ul style="list-style-type: none"> ・ 各校において進路指導等、連携した取組の実施 ・ スーパーグローバルハイスクール（青森高校）の実施 ・ スーパーサイエンスハイスクール（青森高校、弘前南高校）の実施 ・ 重点校を第 1 期実施計画どおり配置。重点校が実施する教育活動（医師を志す高校生支援事業等）への各校の生徒の参加や学習成果の共有等の連携・推進 ・ 田名部高校への単位制を導入（令和元年度） <p>（中高一貫教育）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 併設型中高一貫教育の検証実施 ・ 連携型中高一貫教育の在り方検討（田子中学校・田子高校） <p>（学科改編等）</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 第 1 期実施計画どおり実施 <p>＜英語科＞</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 三沢高校・田名部高校 <p>英語科 → 普通科（令和元年度）</p> <p>＜その他の学科＞</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 理数科、外国語科、スポーツ科学科、表現科の中学生のニーズ等の検証実施
東青	西北	中南	上北	下北	三八									
青森	五所川原	弘前	三本木	田名部	八戸									

全日制課程の方向性（職業教育を主とする専門学科）

基本方針	第 1 期実施計画	取組状況						
<p>職業教育を主とする専門学科</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 職業の多様化に対応できる資質・能力、高校卒業後も学び続ける態度の育成 ○ 大学との接続を視野に入れた取組や、地域、企業等との連携の推進 ○ 専門化・細分化してきた学科について、各専門分野の基礎・基本を重視した学科への見直しの検討 <p>《拠点校の配置》</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 農業科・工業科・商業科において、各学科の専門科目を幅広く学ぶとともに、専門的な学習を深める拠点校の配置 ○ 県全体の職業教育を主とする専門学科の質の確保・向上を図るための拠点校と各高校との連携 <p>《多様な教育制度の充実》 (総合選択制)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 進路志望等の達成に資することができる場合には新たな導入について検討 	<p>職業教育を主とする専門学科 (各校の教育環境の充実)</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 教育環境の整備や各校との連携による特色ある教育活動の充実 ○ 国内外の産業の発展に貢献できる人財の育成に向けた取組の推進 ○ 農業科、工業科及び商業科の高校において、各学科における専門科目を幅広く学び、基礎的・基本的な知識・技能を身に付けるとともに専門的な学習を深め、各学科の学習の拠点としての役割を担い、一定の規模を有する拠点校の配置 <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; margin: 10px 0;"> <thead> <tr style="background-color: #cccccc;"> <th style="width: 33%;">農業科</th> <th style="width: 33%;">工業科</th> <th style="width: 33%;">商業科</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>五所川原農林 三本木農業 (上北地区統合校)</td> <td>青森工業 弘前工業 八戸工業</td> <td>青森商業</td> </tr> </tbody> </table> <p>◆ 県全体の職業教育を主とする専門学科における教育の質の確保・向上を図るため、拠点校が実施する教育活動への各校の生徒の参加や学習成果の共有等の連携とともに、大学との接続を視野に入れた取組や地域、企業等との連携・協力により、高度な知識・技能を身に付けた専門的職業人の育成に積極的に取り組むことができる体制を整備</p> <p>(学科改編等) P20～21のとおり</p>	農業科	工業科	商業科	五所川原農林 三本木農業 (上北地区統合校)	青森工業 弘前工業 八戸工業	青森商業	<p>○ 第 1 期実施計画どおり実施</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 各校において課題研究等、連携した取組を実施。(各学科における発表会の実施など) ・ 拠点校を第 1 期実施計画どおり配置。拠点校が実施する教育活動(地域の産業とビジネスを支える人づくり事業等)への各校の生徒の参加や学習成果の共有等の連携 <ul style="list-style-type: none"> ・ 推進 <p>(総合選択制)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 弘前実業高校における総合選択制の維持 <p>(学科改編等)</p> <p>○ 第 1 期実施計画どおり実施</p>
農業科	工業科	商業科						
五所川原農林 三本木農業 (上北地区統合校)	青森工業 弘前工業 八戸工業	青森商業						

基本方針	第1期実施計画	取組状況																																																													
	<p>＜農業科＞</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>学校名</th> <th>H29の学科</th> <th>学科改編等</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>弘前実業</td> <td>農業経営科 →</td> <td>募集停止 ※1</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">三本木農業 (上北地区統合校)</td> <td>農業機械科 →</td> <td>環境工学科</td> </tr> <tr> <td>環境土木科 →</td> <td>食品工学科</td> </tr> <tr> <td>農業経済科 →</td> <td>生物生産科</td> </tr> <tr> <td>名久井農業</td> <td>園芸科学科 →</td> <td>生物生産科</td> </tr> </tbody> </table> <p>※1 柏木農業高校に集約</p> <p>＜工業科＞</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>学校名</th> <th>H29の学科</th> <th>学科改編等</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">青森工業</td> <td>機械科 →</td> <td>機械科</td> </tr> <tr> <td>電子機械科 →</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="3">五所川原工業 (西北地区統合校)</td> <td>電子機械科 →</td> <td>電子機械科</td> </tr> <tr> <td>情報技術科 →</td> <td></td> </tr> <tr> <td>建築科 →</td> <td>建築科</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">弘前工業</td> <td>インテリア科 →</td> <td></td> </tr> <tr> <td>電子科 →</td> <td>電子科</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">十和田工業</td> <td>電子機械科 →</td> <td></td> </tr> <tr> <td>電気科 →</td> <td>電気科</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">むつ工業</td> <td>電子科 →</td> <td></td> </tr> <tr> <td>機械科 →</td> <td>機械科</td> </tr> <tr> <td>電子機械科 →</td> <td></td> </tr> <tr> <td>電子科 →</td> <td>電子科</td> </tr> <tr> <td rowspan="5">八戸工業</td> <td>情報技術科 →</td> <td></td> </tr> <tr> <td>土木建築科 →</td> <td>土木科</td> </tr> <tr> <td>[土木コース・建築コース]</td> <td>建築科</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	学校名	H29の学科	学科改編等	弘前実業	農業経営科 →	募集停止 ※1	三本木農業 (上北地区統合校)	農業機械科 →	環境工学科	環境土木科 →	食品工学科	農業経済科 →	生物生産科	名久井農業	園芸科学科 →	生物生産科	学校名	H29の学科	学科改編等	青森工業	機械科 →	機械科	電子機械科 →		五所川原工業 (西北地区統合校)	電子機械科 →	電子機械科	情報技術科 →		建築科 →	建築科	弘前工業	インテリア科 →		電子科 →	電子科	十和田工業	電子機械科 →		電気科 →	電気科	むつ工業	電子科 →		機械科 →	機械科	電子機械科 →		電子科 →	電子科	八戸工業	情報技術科 →		土木建築科 →	土木科	[土木コース・建築コース]	建築科					<p>＜農業科＞</p> <ul style="list-style-type: none"> ・弘前実業高校 農業経営科 → 募集停止 (令和3年度予定) ※柏木農業高校に集約 ・三本木農業高校(上北地区統合校) 農業機械科・環境土木科 → 環境工学科 (令和3年度予定) 農業経済科 → 食品科学科 (令和3年度予定) ・名久井農業高校 生物生産科・園芸科学科 → 生物生産科 (令和2年度) <p>＜工業科＞</p> <ul style="list-style-type: none"> ・青森工業高校 機械科・電子機械科 → 機械科 (令和3年度予定) ・五所川原工業高校(西北地区統合校) 電子機械科・情報技術科 → 電子機械科 (令和3年度予定) ・弘前工業高校 建築科・インテリア科 → 建築科 (令和元年度) ・十和田工業高校 電子科・電子機械科 → 電子科 (令和2年度) ・むつ工業高校 電気科・電子科 → 電気科 (令和2年度) ・八戸工業高校 機械科・電子機械科 → 機械科 (令和3年度予定) 電子科・情報技術科 → 電子科 (令和3年度予定) 土木建築科(土木コース・建築コース) → 土木科 (令和3年度予定) → 建築科 (令和3年度予定)
学校名	H29の学科	学科改編等																																																													
弘前実業	農業経営科 →	募集停止 ※1																																																													
三本木農業 (上北地区統合校)	農業機械科 →	環境工学科																																																													
	環境土木科 →	食品工学科																																																													
	農業経済科 →	生物生産科																																																													
名久井農業	園芸科学科 →	生物生産科																																																													
学校名	H29の学科	学科改編等																																																													
青森工業	機械科 →	機械科																																																													
	電子機械科 →																																																														
五所川原工業 (西北地区統合校)	電子機械科 →	電子機械科																																																													
	情報技術科 →																																																														
	建築科 →	建築科																																																													
弘前工業	インテリア科 →																																																														
	電子科 →	電子科																																																													
十和田工業	電子機械科 →																																																														
	電気科 →	電気科																																																													
むつ工業	電子科 →																																																														
	機械科 →	機械科																																																													
	電子機械科 →																																																														
	電子科 →	電子科																																																													
八戸工業	情報技術科 →																																																														
	土木建築科 →	土木科																																																													
	[土木コース・建築コース]	建築科																																																													

基本方針	第1期実施計画		取組状況																
	<p><商業科></p> <table border="1" data-bbox="300 880 528 1603"> <thead> <tr> <th>学校名</th> <th>H29の学科</th> <th>学科改編等</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">黒石商業</td> <td>商業科</td> <td>→ 募集停止 ※2</td> </tr> <tr> <td>情報処理科</td> <td>→ 募集停止 ※3</td> </tr> <tr> <td>情報デザイン科</td> <td>→ 募集停止 ※4</td> </tr> <tr> <td>十和田西</td> <td>観光科</td> <td>→ 募集停止 ※5</td> </tr> <tr> <td>八戸商業</td> <td>国際経済科</td> <td>→ 募集停止 ※5</td> </tr> </tbody> </table> <p>※2 弘前実業高校に集約 ※3 中南区統合校に学習内容を引継ぎ ※4 上北区統合校に学習内容を引継ぎ ※5 第3次実施計画【後期】に基づき、H30年度に募集停止</p>		学校名	H29の学科	学科改編等	黒石商業	商業科	→ 募集停止 ※2	情報処理科	→ 募集停止 ※3	情報デザイン科	→ 募集停止 ※4	十和田西	観光科	→ 募集停止 ※5	八戸商業	国際経済科	→ 募集停止 ※5	<p><商業科></p> <ul style="list-style-type: none"> ・黒石商業高校 商業科・情報処理科 → 募集停止（令和2年度） ※弘前実業高校に集約 情報デザイン科 → 募集停止（令和2年度） ※中南区統合校に学習内容を引継ぎ ・十和田西高校 観光科 → 募集停止（令和3年度予定） ※上北区統合校に学習内容を引継ぎ ・八戸商業高校 国際経済科 → 募集停止（平成30年度）
学校名	H29の学科	学科改編等																	
黒石商業	商業科	→ 募集停止 ※2																	
	情報処理科	→ 募集停止 ※3																	
	情報デザイン科	→ 募集停止 ※4																	
十和田西	観光科	→ 募集停止 ※5																	
八戸商業	国際経済科	→ 募集停止 ※5																	
	<p><その他の学科></p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 水産科、家庭科、看護科については、引き続き、専攻科を含む各学科の充実を図るとともに、中学生のニーズ等を十分に検証し、その結果に応じて、各専門分野の基礎・基本を重視した学科へ見直し 		<p><その他の学科></p> <ul style="list-style-type: none"> ・水産科、家庭科、看護科の中学生のニーズ等の検証実施 																

全日制課程の方向性（総合学科）

基本方針	第1期実施計画	取組状況
<p>総合学科</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 課題解決型学習による主体的な学習の充実 ○ 生徒のニーズ等を踏まえた系列の見直し ○ 社会人や地域の有識者の活用 ○ 学科改編については、生徒のニーズ等を踏まえ検討 	<p>総合学科</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 各校の課題研究における成果等の共有による特色ある教育活動の充実 ○ 地域の社会人や有識者の積極的な活用 ○ 系列の在り方について各校との検討・見直し 	<p>○ 第1期実施計画どおり実施</p> <ul style="list-style-type: none"> ・七戸高校の学級減に伴う系列の見直し 食品科学系列 → 廃止（令和2年度）

定時制課程・通信制課程の方向性

基本方針	第1期実施計画	取組状況
<p>定時制課程の方向性</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 特別支援学校等との連携、スクールソーシャルワーカー等専門スタッフによるよきめ細かな支援体制の整備等の教育環境の充実 ○ 工業科の今後の在り方について検討 	<p>定時制課程</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ スクールソーシャルワーカー等専門スタッフによるよきめ細かな支援体制の整備等の充実 ○ 入学者数が大幅に減少し、教育環境の維持が困難となっている工業技術科の募集停止 他の定時制課程における職業教育に関する専門科目の充実、高校教育を受ける機会の確保 	<p>第1期実施計画どおり実施</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ スクールソーシャルワーカーを県内6地区の定時制課程高校へ配置（平成27年度から継続） ・ 工業技術科の募集停止 青森工業高校（工業技術科） → 募集停止（令和3年度予定） 弘前工業高校（工業技術科） → 募集停止（令和3年度予定） 八戸工業高校（工業技術科） → 募集停止（令和3年度予定）
<p>通信制課程の方向性</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 後期入学制度やICTを活用した教育方法の導入等の検討 	<p>通信制課程</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ ICTを活用した教育方法の導入に向けて検討 ○ 北斗高校における後期入学や年度中途からの転入学・編入学等の実施 北斗高校における実施状況を検証した上で、生徒のニーズ等を踏まえ、他校においても段階的に実施 	<p>第1期実施計画どおり実施</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ ICTを活用した教育方法の導入に向けた検討の実施 ・ 北斗高校における後期入学制度の導入（平成30年10月）

<2 学校規模・配置>

○ 青森県立高等学校将来構想検討会議答申

1 学校規模・配置の検討に当たって考慮すべき観点

(1) 高校教育を受ける機会の確保

① 各地区における中学生の 進路の選択肢の確保

大学等への進学や就職
等より幅広い進路選択
に対応する高校

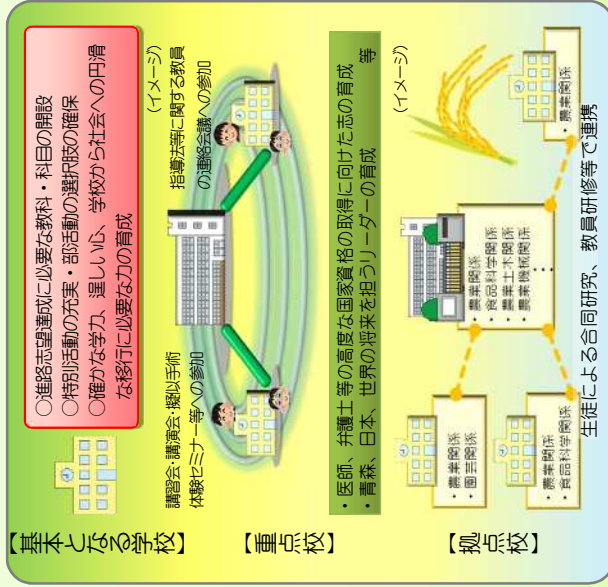
選抜性の高い大学への
進学に対応する高校

職業教育の中心
となる高校

② 通学環境への配慮

◇ 地理的な要因から高校に通学
することが困難な地域が新た
に生じないよう配慮

(2) 充実した教育環境の整備



2 学校規模の方向性

【学校規模の標準】

① 基本となる学校

1 学年当たり 4 学級以上

② 普通科等の重点校

1 学年当たり 6 学級以上

③ 職業教育を主とする専門学 科の拠点校

一つの専門学科で

1 学年当たり 4 学級以上

(通学環境に配慮した対応)

◇ 学校規模の標準を満たさない高校で
も、他の高校へ通学することが困難
な場合は配置に配慮

3 学校配置の方向性

<新たな取組>

計画的な学校配置
◇ 必要に応じて地域の意見を
伺う機会を設定
◇ 統合校の名称等を検討す
る開設準備委員会（仮
称）を設置

通学環境に配慮して配 置する高校への対応

◇ 入学者数が極めて少ない状
況となった場合には、高校
教育として求められる質の
確保に支障が生じる懸念が
あることから、
募集停止等に関する具
体的な基準をあらかじめ
めし、関係市町村等
の理解を得ながら対応
◇ 募集停止等の場合は、
通学支援について検討

学校規模・配置の検討に当たって考慮すべき観点

基本方針	第1期実施計画	取組状況
<p>学校規模・配置に当たっての観点</p> <p>【高校教育を受ける機会の確保】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 中学生の進路志望に応じた高校の選択肢の確保 ○ 地理的な要因から高校への通学が困難な地域が新たに生じないよう配慮 <p>【充実した教育環境の整備】</p> <p>本県高校教育全体の質の確保・向上のための、一定の学校規模の維持</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○ 基本方針を踏まえ、具体的な学校配置を決定 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 第1期実施計画どおり実施

学校規模の方向性

基本方針	第1期実施計画	取組状況																								
<p>【学校規模の標準】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 基本となる学校規模 1 学年当たり 4 学級以上 ○ 普通科等の重点校の学校規模 1 学年当たり 6 学級以上 <p>○ 職業教育を主とする専門学科の拠点校の学校規模 一つの専門学科で 1 学年当たり 4 学級以上</p>	<p>第1期実施計画</p> <table border="1" data-bbox="893 936 997 1451"> <thead> <tr> <th>東青</th> <th>西北</th> <th>中南</th> <th>上北</th> <th>下北</th> <th>三八</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>青森 6c1</td> <td>五所川原 5c1</td> <td>弘前 6c1</td> <td>三本木 6c1</td> <td>田名部 5c1</td> <td>八戸 6c1</td> </tr> </tbody> </table> <p>※ 五所川原高校、田名部高校は地区の実情を踏まえて5c1であっても配置</p> <table border="1" data-bbox="1104 936 1337 1451"> <thead> <tr> <th>農業科</th> <th>工業科</th> <th>商業科</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>五所川原農林 (農業科4c1)</td> <td>青森工業 (工業科6c1)</td> <td>青森商業 (商業科5c1)</td> </tr> <tr> <td>三本木農業 (上北地区統合校) (農業科4c1)</td> <td>弘前工業 (工業科6c1)</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>八戸工業 (工業科6c1)</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	東青	西北	中南	上北	下北	三八	青森 6c1	五所川原 5c1	弘前 6c1	三本木 6c1	田名部 5c1	八戸 6c1	農業科	工業科	商業科	五所川原農林 (農業科4c1)	青森工業 (工業科6c1)	青森商業 (商業科5c1)	三本木農業 (上北地区統合校) (農業科4c1)	弘前工業 (工業科6c1)			八戸工業 (工業科6c1)		<ul style="list-style-type: none"> ○ 第1期実施計画どおり配置
東青	西北	中南	上北	下北	三八																					
青森 6c1	五所川原 5c1	弘前 6c1	三本木 6c1	田名部 5c1	八戸 6c1																					
農業科	工業科	商業科																								
五所川原農林 (農業科4c1)	青森工業 (工業科6c1)	青森商業 (商業科5c1)																								
三本木農業 (上北地区統合校) (農業科4c1)	弘前工業 (工業科6c1)																									
	八戸工業 (工業科6c1)																									

基本方針	第1期実施計画	取組状況
<p>学校規模の標準を満たさない場合における通学環境に配慮した対応【地域校】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 学校規模の標準を満たさない高校であっても、募集停止等により高校への通学が困難な地域が新たに生じる場合は地域校として配置 ○ 高校への通学が困難な地域については、公共交通機関の状況を考慮し、総合的に判断 <p>《公共交通機関の状況》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・路線の整備状況（通学可能な公共交通機関が存在するか。） ・利用時間帯（早朝（おおむね午前6時以前）に乗りしななければならないか。） ・利用時間（片道の乗車時間がおおむね1時間を超えるか。） 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 学校規模の標準（1学年当たり4学級以上）を満たさない高等学校のうち、募集停止等により高等学校への通学が困難な地域が新たに生じる高等学校を地域校として配置（P26参照） 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 第1期実施計画どおり配置（P26参照）

学校配置の方向性

基本方針	第1期実施計画	取組状況
<p>学校配置の考え方（全日制課程）</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 学校規模の標準を満たし、6地区ごとに中学校卒業予定者数の推移、中学生のニーズ等に対応しながら計画的な学校配置を実施 ○ 異なる学科の高校の統合による複数の学科を有する高校の設置について検討 ○ 公共交通機関の利便性等を考慮 ○ 重点校の各地区における配置及び農業科・工業科・商業科の拠点校の全体的なバランスを考慮し配置 ○ 地域における通学状況を考慮した地域校の配置 <p>学校配置の考え方（定時制課程・通信制課程）</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 定時制課程：6地区ごとの配置を基本 ○ 通信制課程：東青・中南・三八地区の配置を基本 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 基本方針を踏まえ、地区ごとに具体的な学校配置を決定（P29～P34参照） 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 基本方針、第1期実施計画を踏まえた計画的な学校配置の実施（P29～P34参照）

通学環境に配慮して配置する高校（地域校）への対応

基本方針	第1期実施計画	取組状況																														
<p>地域校への対応 (2学級規模の地域校)</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 入学者数が40人以下の状態が2年間継続した場合、原則として1学級規模 (1学級規模の地域校) ○ 校舎制導入校を地域校とする場合は、引き続き、校舎制導入校として配置 ○ 第3次実施計画[後期]により1学級規模とした高校を地域校とする場合は、引き続き本校として配置 ○ 本計画において1学級規模となる地域校は、引き続き本校として配置 ○ 入学者数が極めて少ない状況となった場合等には次のとおり対応 	<p>地域校</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 対象校 青森北高校今別校舎、木造高校深浦校舎、中里高校、六ヶ所高校、大間高校、田子高校 ○ 小規模校における教育活動の充実を図るため、各校との連携による教育活動に必要な施策を実施 ○ 地域校の規模・配置については、基本方針に定める基準等により対応 1学級規模の地域校が基準に該当した場合、高校への通学が困難となる地域の生徒の通学への対応を含め、当該高校の所在する市町村等と募集停止等に向け協議 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 第1期実施計画どおり配置及び対応 (1学級規模の地域校) 青森北高校今別校舎、木造高校深浦校舎、中里高校、田子高校 (2学級規模の地域校) 六ヶ所高校、大間高校 <p>《地域校の状況》</p> <table border="1" data-bbox="582 168 893 907"> <thead> <tr> <th rowspan="2">学校名</th> <th colspan="2">入学状況</th> <th rowspan="2">備考</th> </tr> <tr> <th>平成30年度</th> <th>令和元年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>青北今別</td> <td>6人</td> <td>12人</td> <td>基準該当</td> </tr> <tr> <td>木造深浦</td> <td>20人</td> <td>16人</td> <td></td> </tr> <tr> <td>中里</td> <td>17人</td> <td>11人</td> <td>基準該当</td> </tr> <tr> <td>六ヶ所</td> <td>66人</td> <td>48人</td> <td></td> </tr> <tr> <td>大間</td> <td>48人</td> <td>41人</td> <td></td> </tr> <tr> <td>田子</td> <td>13人</td> <td>9人</td> <td>基準該当</td> </tr> </tbody> </table> <ul style="list-style-type: none"> ・青森北高校今別校舎、中里高校、田子高校は、基準に該当したことから、所在する町等との協議を経て、令和2年度に募集停止 	学校名	入学状況		備考	平成30年度	令和元年度	青北今別	6人	12人	基準該当	木造深浦	20人	16人		中里	17人	11人	基準該当	六ヶ所	66人	48人		大間	48人	41人		田子	13人	9人	基準該当
学校名	入学状況			備考																												
	平成30年度	令和元年度																														
青北今別	6人	12人	基準該当																													
木造深浦	20人	16人																														
中里	17人	11人	基準該当																													
六ヶ所	66人	48人																														
大間	48人	41人																														
田子	13人	9人	基準該当																													
<ul style="list-style-type: none"> ・ 募集人員に対する入学者数の割合が2年間継続して2分の1未満となった場合、募集停止等に向け、当該高校の所在する市町村等と協議 ・ 協議の際には、通学が困難となる地域の生徒の通学について、当該高校の所在する市町村等と連携を図りながら、対応を検討 		<p>＜募集停止に向けた協議の状況等＞</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 所在する町等との協議は、高校生の通学、閉校後の各種証明書発行や指導要録等の引継ぎなどについて令和元年度4回実施 ・ 地域校の関係する町等には平成30年度にも3回直接訪問。地域校の考え方、入学状況、地域の公共交通機関の状況、(田子高校:連携型中高一貫教育)等について情報共有 																														

基本方針	第1期実施計画	取組状況
<p>計画的な学校配置に向けた取組</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 地区意見交換会(仮称)を開催し、あらかじめ意見を伺いながら具体的な実施計画を策定 ○ 計画的な統合を行う場合には、開設準備委員会(仮称)を設置し、統合校の新たな名称等について検討 	<p>計画的な統合に当たっての留意事項</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 統合の対象となる学校に入学した生徒は、入学した学校で学び、卒業することを基本 ○ 統合の対象となる学校の教育活動の維持に向けた適正な教職員の配置及び生徒の活動の場の確保 ○ 統合の対象となる学校の関係者等で構成する開設準備委員会をあらかじめ設置 ○ 統合の対象となる学校の卒業生に係る卒業証明書等の発行や指導要録、沿革に係る資料の保存・管理等は、統合校において引継ぎ 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 基本方針どおり、地区意見交換会を平成28年9月から平成29年1月まで県内6地区で実施計画策定前に各3回開催し、各地区の意見を聴取 ○ 基本方針・第1期実施計画どおり、統合校ごとに開設準備委員会を設置し、統合校の名称等について検討 中南地区統合校(平成30年度実施) 西北地区統合校(令和元年度実施) 上北地区統合校(令和元年度実施) ○ 開設準備委員会において証明書の発行等について統合校が引き継ぐことを確認 本校である地域校(中里高校、田子高校)及び五戸高校の引継ぎについて個別に検討

<3 各地区の学校配置等に関する基本的な方向性>

○ 青森県立高等学校将来構想検討会議答申(全日制課程)

	東青	西北	中南	上北	下北	三八
学級数増減見込※1	△13～△15学級	△8～△10学級	△9～△11学級	△10～△12学級	△3～△5学級	△6～△8学級
H39(R9) 学級数見込	39～41学級	17～19学級	33～35学級	31～33学級	12～14学級	36～38学級
重点校	設置	設置※2	設置	設置	設置※2	設置
拠点校	設置(工業・商業)	設置(農業)	設置(工業)	設置(農業)	—	設置(工業)
その他	総合学科は、既設の4地区での配置を継続。複数学科を有する高校は、新たな設置について検討。					

※1 平成29年度と平成39年度(令和9年度)の学級数の見込みを比較。

※2 西北地区及び下北地区の重点校は6学級未満の規模であっても柔軟に対応。併せて単位制の導入を検討。

各地区の学校配置等に関する基本的な方向性（東青地区）

基本方針	第1期実施計画		取組状況																																																																																													
<p>【東青地区】</p> <p><中学校卒業予定者数：H29 2,920人 → H34 (R4) 2,458人(△462)></p> <p><期間内学級数の増減：△7～△8学級></p> <table border="1" data-bbox="422 1086 1093 1904"> <thead> <tr> <th rowspan="2">学校・学科</th> <th colspan="2">年度・学級数等</th> <th colspan="2">第1期</th> </tr> <tr> <th>H29</th> <th>H34 (R4)</th> <th colspan="2">期間内増減</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>青森高校</td> <td>普通 7</td> <td>6</td> <td colspan="2">△1</td> </tr> <tr> <td>青森西高校</td> <td>普通 6</td> <td>6</td> <td colspan="2"></td> </tr> <tr> <td>青森東高校</td> <td>普通 7</td> <td>6</td> <td colspan="2">△1</td> </tr> <tr> <td>平内校舎</td> <td>普通 1</td> <td>0</td> <td colspan="2">△1</td> </tr> <tr> <td>青森北高校</td> <td>普通 5</td> <td>4</td> <td colspan="2">△1</td> </tr> <tr> <td></td> <td>スポーツ科学 1</td> <td>1</td> <td colspan="2"></td> </tr> <tr> <td>今別校舎</td> <td>普通 1</td> <td>※ 1</td> <td colspan="2"></td> </tr> <tr> <td>青森南高校</td> <td>普通 5</td> <td>4</td> <td colspan="2">△1</td> </tr> <tr> <td></td> <td>外国語 1</td> <td>1</td> <td colspan="2"></td> </tr> <tr> <td>青森中央高校</td> <td>総合 5</td> <td>5</td> <td colspan="2"></td> </tr> <tr> <td>浪岡高校</td> <td>普通 2</td> <td>2</td> <td colspan="2"></td> </tr> <tr> <td>青森工業高校</td> <td>工業 7</td> <td>6</td> <td colspan="2">△1</td> </tr> <tr> <td>青森商業高校</td> <td>商業 6</td> <td>5</td> <td colspan="2">△1</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>54</td> <td>47</td> <td colspan="2">△7</td> </tr> </tbody> </table> <p>※ 地域校の規模・配置は、基本方針に定める基準等により対応</p>	学校・学科	年度・学級数等		第1期		H29	H34 (R4)	期間内増減		青森高校	普通 7	6	△1		青森西高校	普通 6	6			青森東高校	普通 7	6	△1		平内校舎	普通 1	0	△1		青森北高校	普通 5	4	△1			スポーツ科学 1	1			今別校舎	普通 1	※ 1			青森南高校	普通 5	4	△1			外国語 1	1			青森中央高校	総合 5	5			浪岡高校	普通 2	2			青森工業高校	工業 7	6	△1		青森商業高校	商業 6	5	△1		計	54	47	△7		<p>【東青地区】</p> <p><中学校卒業予定者数：H29実績 2,922人 → R4見込み 2,496人(△426)></p> <p>○ 第1期実施計画どおりの学校配置を実施</p> <ul style="list-style-type: none"> 青森高校を重点校として配置 青森工業高校（工業科）及び青森商業高校（商業科）を拠点校として配置 定時制課程・通信制課程の維持及び工業技術科の募集停止 <p>【募集停止】</p> <table border="1" data-bbox="662 280 742 1019"> <tr> <td>青森東高校平内校舎</td> <td>(令和元年度)</td> </tr> <tr> <td>青森北高校今別校舎（地域校）</td> <td>(令和2年度)</td> </tr> </table> <p>【学級減】</p> <table border="1" data-bbox="821 280 1061 1019"> <tr> <td>青森高校</td> <td>(令和3年度予定)</td> </tr> <tr> <td>青森東高校</td> <td>(令和元年度)</td> </tr> <tr> <td>青森北高校</td> <td>(令和元年度)</td> </tr> <tr> <td>青森南高校</td> <td>(令和3年度予定)</td> </tr> <tr> <td>青森工業高校</td> <td>(令和3年度予定)</td> </tr> <tr> <td>青森商業高校</td> <td>(令和元年度)</td> </tr> </table> <p>《定時制課程工業技術科募集停止》</p> <p>青森工業高校（令和3年度予定）</p>	青森東高校平内校舎	(令和元年度)	青森北高校今別校舎（地域校）	(令和2年度)	青森高校	(令和3年度予定)	青森東高校	(令和元年度)	青森北高校	(令和元年度)	青森南高校	(令和3年度予定)	青森工業高校	(令和3年度予定)	青森商業高校	(令和元年度)
学校・学科		年度・学級数等		第1期																																																																																												
	H29	H34 (R4)	期間内増減																																																																																													
青森高校	普通 7	6	△1																																																																																													
青森西高校	普通 6	6																																																																																														
青森東高校	普通 7	6	△1																																																																																													
平内校舎	普通 1	0	△1																																																																																													
青森北高校	普通 5	4	△1																																																																																													
	スポーツ科学 1	1																																																																																														
今別校舎	普通 1	※ 1																																																																																														
青森南高校	普通 5	4	△1																																																																																													
	外国語 1	1																																																																																														
青森中央高校	総合 5	5																																																																																														
浪岡高校	普通 2	2																																																																																														
青森工業高校	工業 7	6	△1																																																																																													
青森商業高校	商業 6	5	△1																																																																																													
計	54	47	△7																																																																																													
青森東高校平内校舎	(令和元年度)																																																																																															
青森北高校今別校舎（地域校）	(令和2年度)																																																																																															
青森高校	(令和3年度予定)																																																																																															
青森東高校	(令和元年度)																																																																																															
青森北高校	(令和元年度)																																																																																															
青森南高校	(令和3年度予定)																																																																																															
青森工業高校	(令和3年度予定)																																																																																															
青森商業高校	(令和元年度)																																																																																															

各地区の学校配置等に関する基本的な方向性（西北地区）

基本方針	第1期実施計画	取組状況																																																																															
	<p>西北地区</p> <p><中学校卒業予定者数：H29 1,363人 → H34 (R4) 996人(△367)></p> <p><期間内学級数の増減：△6～△8 学級></p> <table border="1" data-bbox="448 1093 1126 1906"> <thead> <tr> <th rowspan="2">学校・学科</th> <th colspan="2">年度・学級数等</th> <th colspan="2">第1期</th> </tr> <tr> <th>第3次</th> <th>H29</th> <th>H34 (R4)</th> <th>期間内増減</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>五所川原高校</td> <td>普通</td> <td>4</td> <td>4</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>理数</td> <td>1</td> <td>1</td> <td></td> </tr> <tr> <td>木造高校</td> <td>総合</td> <td>4</td> <td>4</td> <td></td> </tr> <tr> <td>深浦校舎</td> <td>総合</td> <td>1</td> <td>※ 1</td> <td></td> </tr> <tr> <td>鱈ヶ沢高校</td> <td>普通</td> <td>2</td> <td>1</td> <td>△1</td> </tr> <tr> <td>中里高校</td> <td>普通</td> <td>1</td> <td>※ 1</td> <td></td> </tr> <tr> <td>西北地区統合校</td> <td>普通</td> <td></td> <td>2</td> <td>+2</td> </tr> <tr> <td></td> <td>工業</td> <td></td> <td>3</td> <td>+3</td> </tr> <tr> <td>金木高校</td> <td>普通</td> <td>2</td> <td>0</td> <td>△2</td> </tr> <tr> <td>板柳高校</td> <td>普通</td> <td>2</td> <td>0</td> <td>△2</td> </tr> <tr> <td>鶴田高校</td> <td>普通</td> <td>2</td> <td>0</td> <td>△2</td> </tr> <tr> <td>五所川原工業高校</td> <td>工業</td> <td>4</td> <td>0</td> <td>△4</td> </tr> <tr> <td>五所川原農林高校</td> <td>農業</td> <td>4</td> <td>4</td> <td></td> </tr> <tr> <td>計</td> <td></td> <td>27</td> <td>21</td> <td>△6</td> </tr> </tbody> </table> <p>※ 地域の規模・配置は、基本方針に定める基準等により対応</p>	学校・学科	年度・学級数等		第1期		第3次	H29	H34 (R4)	期間内増減	五所川原高校	普通	4	4			理数	1	1		木造高校	総合	4	4		深浦校舎	総合	1	※ 1		鱈ヶ沢高校	普通	2	1	△1	中里高校	普通	1	※ 1		西北地区統合校	普通		2	+2		工業		3	+3	金木高校	普通	2	0	△2	板柳高校	普通	2	0	△2	鶴田高校	普通	2	0	△2	五所川原工業高校	工業	4	0	△4	五所川原農林高校	農業	4	4		計		27	21	△6	<p>西北地区</p> <p><中学校卒業予定者数：H29実績 1,358人 → R4見込み 982人(△376)></p> <p>○ 第1期実施計画どおりの学校配置を実施</p> <ul style="list-style-type: none"> 五所川原高校を重点校として配置 五所川原農林高校（農業科）を拠点校として配置 西北地区統合校（普通科及び工業科）の設置 定時制課程の維持 <p>【統合・募集停止】</p> <p>中里高校（地域校）（令和2年度） 金木高校・板柳高校・鶴田高校・五所川原工業高校 → 西北地区統合校（令和3年度予定）</p> <p>【学級減】</p> <p>鱈ヶ沢高校（平成30年度）</p>
学校・学科	年度・学級数等		第1期																																																																														
	第3次	H29	H34 (R4)	期間内増減																																																																													
五所川原高校	普通	4	4																																																																														
	理数	1	1																																																																														
木造高校	総合	4	4																																																																														
深浦校舎	総合	1	※ 1																																																																														
鱈ヶ沢高校	普通	2	1	△1																																																																													
中里高校	普通	1	※ 1																																																																														
西北地区統合校	普通		2	+2																																																																													
	工業		3	+3																																																																													
金木高校	普通	2	0	△2																																																																													
板柳高校	普通	2	0	△2																																																																													
鶴田高校	普通	2	0	△2																																																																													
五所川原工業高校	工業	4	0	△4																																																																													
五所川原農林高校	農業	4	4																																																																														
計		27	21	△6																																																																													

各地区の学校配置等に関する基本的な方向性（中南地区）

基本方針	第1期実施計画		取組状況																																																																															
	<p>【中南地区】</p> <p><中学校卒業予定者数：H29 2,552人 → H34 (R4) 2,117人(△435)></p> <p><期間内学級数の増減：△5学級></p> <table border="1" data-bbox="448 1088 1203 1904"> <thead> <tr> <th rowspan="2">学校・学科</th> <th colspan="2">年度・学級数等</th> <th colspan="2">第1期</th> </tr> <tr> <th>第3次</th> <th>H29</th> <th>H34 (R4)</th> <th>期間内増減</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>弘前高校</td> <td>普通</td> <td>6</td> <td>6</td> <td></td> </tr> <tr> <td>弘前中央高校</td> <td>普通</td> <td>6</td> <td>6</td> <td></td> </tr> <tr> <td>弘前南高校</td> <td>普通</td> <td>6</td> <td>6</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="2">中南地区統合校</td> <td>普通</td> <td></td> <td>3</td> <td>+3</td> </tr> <tr> <td>情報デザイン 看護</td> <td></td> <td>1</td> <td>+1</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">黒石高校</td> <td>普通</td> <td>3</td> <td>0</td> <td>△3</td> </tr> <tr> <td>看護</td> <td>1</td> <td>0</td> <td>△1</td> </tr> <tr> <td>黒石商業高校</td> <td>商業</td> <td>4</td> <td>0</td> <td>△4</td> </tr> <tr> <td>柏木農業高校</td> <td>農業</td> <td>4</td> <td>4</td> <td></td> </tr> <tr> <td>弘前工業高校</td> <td>工業</td> <td>7</td> <td>6</td> <td>△1</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">弘前実業高校</td> <td>農業</td> <td>1</td> <td>0</td> <td>△1</td> </tr> <tr> <td>商業</td> <td>3</td> <td>3</td> <td></td> </tr> <tr> <td>家庭</td> <td>2</td> <td>2</td> <td></td> </tr> <tr> <td>スポーツ科学</td> <td>1</td> <td>1</td> <td></td> </tr> <tr> <td>計</td> <td></td> <td>44</td> <td>39</td> <td>△5</td> </tr> </tbody> </table>		学校・学科	年度・学級数等		第1期		第3次	H29	H34 (R4)	期間内増減	弘前高校	普通	6	6		弘前中央高校	普通	6	6		弘前南高校	普通	6	6		中南地区統合校	普通		3	+3	情報デザイン 看護		1	+1	黒石高校	普通	3	0	△3	看護	1	0	△1	黒石商業高校	商業	4	0	△4	柏木農業高校	農業	4	4		弘前工業高校	工業	7	6	△1	弘前実業高校	農業	1	0	△1	商業	3	3		家庭	2	2		スポーツ科学	1	1		計		44	39	△5	<p>【中南地区】</p> <p><中学校卒業予定者数：H29実績 2,554人 → R4見込み 2,128人(△426)></p> <p>○ 第1期実施計画どおりの学校配置を実施</p> <ul style="list-style-type: none"> ・弘前高校を重点校として配置 ・弘前工業高校（工業科）を拠点校として配置 ・定時制課程・通信制課程の維持及び工業技術科の募集停止 <p>【統合・募集停止】</p> <p>黒石高校・黒石商業高校 → 黒石高校（中南地区統合校）（令和2年度）</p> <p>【学級減】</p> <p>弘前工業高校（令和元年度） 弘前実業高校（令和3年度予定）</p> <p>《定時制課程工業技術科募集停止》 弘前工業高校（令和3年度予定）</p>
学校・学科	年度・学級数等			第1期																																																																														
	第3次	H29	H34 (R4)	期間内増減																																																																														
弘前高校	普通	6	6																																																																															
弘前中央高校	普通	6	6																																																																															
弘前南高校	普通	6	6																																																																															
中南地区統合校	普通		3	+3																																																																														
	情報デザイン 看護		1	+1																																																																														
黒石高校	普通	3	0	△3																																																																														
	看護	1	0	△1																																																																														
黒石商業高校	商業	4	0	△4																																																																														
柏木農業高校	農業	4	4																																																																															
弘前工業高校	工業	7	6	△1																																																																														
弘前実業高校	農業	1	0	△1																																																																														
	商業	3	3																																																																															
	家庭	2	2																																																																															
	スポーツ科学	1	1																																																																															
計		44	39	△5																																																																														

各地区の学校配置等に関する基本的な方向性（上北地区）

基本方針	第1期実施計画		取組状況																																																																																						
<p>上北地区</p> <p><中学校卒業予定者数：H29 1,958人 → H34 (R4) 1,567人(△391)></p> <p><期間内学級数の増減：△9～△10 学級></p> <table border="1" data-bbox="440 1088 1366 1906"> <thead> <tr> <th rowspan="2">学校・学科</th> <th colspan="2">年度・学級数等</th> <th rowspan="2">第1期 H34 (R4)</th> <th rowspan="2">期間内増減</th> </tr> <tr> <th>第3次 H29</th> <th></th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>三本木高校</td> <td>普通</td> <td>6</td> <td>6</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="2">三沢高校</td> <td>普通</td> <td>5</td> <td>5</td> <td></td> </tr> <tr> <td>英語</td> <td>1</td> <td>0</td> <td>△1</td> </tr> <tr> <td>野辺地高校</td> <td>普通</td> <td>3</td> <td>2</td> <td>△1</td> </tr> <tr> <td>七戸高校</td> <td>総合</td> <td>4</td> <td>3</td> <td>△1</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">百石高校</td> <td>普通</td> <td>3</td> <td>2</td> <td>△1</td> </tr> <tr> <td>家庭</td> <td>1</td> <td>1</td> <td></td> </tr> <tr> <td>六ヶ所高校</td> <td>普通</td> <td>2</td> <td>※ 2</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="2">上北地区統合校</td> <td>普通</td> <td></td> <td>2</td> <td>+2</td> </tr> <tr> <td>農業</td> <td></td> <td>4</td> <td>+4</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">十和田西高校</td> <td>普通</td> <td>1</td> <td>0</td> <td>△1</td> </tr> <tr> <td>商業</td> <td>1</td> <td>0</td> <td>△1</td> </tr> <tr> <td>六戸高校</td> <td>普通</td> <td>2</td> <td>0</td> <td>△2</td> </tr> <tr> <td>三本木農業高校</td> <td>農業</td> <td>5</td> <td>0</td> <td>△5</td> </tr> <tr> <td>十和田工業高校</td> <td>工業</td> <td>5</td> <td>4</td> <td>△1</td> </tr> <tr> <td>三沢商業高校</td> <td>商業</td> <td>4</td> <td>3</td> <td>△1</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td></td> <td>43</td> <td>34</td> <td>△9</td> </tr> </tbody> </table> <p>※ 地域校の規模・配置は、基本方針に定める基準等により対応</p>	学校・学科	年度・学級数等		第1期 H34 (R4)	期間内増減	第3次 H29		三本木高校	普通	6	6		三沢高校	普通	5	5		英語	1	0	△1	野辺地高校	普通	3	2	△1	七戸高校	総合	4	3	△1	百石高校	普通	3	2	△1	家庭	1	1		六ヶ所高校	普通	2	※ 2		上北地区統合校	普通		2	+2	農業		4	+4	十和田西高校	普通	1	0	△1	商業	1	0	△1	六戸高校	普通	2	0	△2	三本木農業高校	農業	5	0	△5	十和田工業高校	工業	5	4	△1	三沢商業高校	商業	4	3	△1	計		43	34	△9	<p>上北地区</p> <p><中学校卒業予定者数：H29 実績 1,962人 → R4 見込み 1,575人(△387)></p> <p>○ 第1期実施計画どおりの学校配置を実施</p> <ul style="list-style-type: none"> 三本木高校を重点校として配置 上北地区統合校（農業科）を拠点校として配置 定時制課程の維持 <p>【統合・募集停止】</p> <p>十和田西高校・六戸高校・三本木農業高校 → 上北地区統合校（令和3年度予定）</p> <p>【学級減】</p> <p>野辺地高校（平成30年度） 七戸高校（令和元年度） 百石高校（令和元年度） 十和田工業高校（令和2年度） 三沢商業高校（平成30年度）</p> <p>※ 三沢高校英語科の学科改編は令和元年度実施</p>
学校・学科		年度・学級数等				第1期 H34 (R4)	期間内増減																																																																																		
	第3次 H29																																																																																								
三本木高校	普通	6	6																																																																																						
三沢高校	普通	5	5																																																																																						
	英語	1	0	△1																																																																																					
野辺地高校	普通	3	2	△1																																																																																					
七戸高校	総合	4	3	△1																																																																																					
百石高校	普通	3	2	△1																																																																																					
	家庭	1	1																																																																																						
六ヶ所高校	普通	2	※ 2																																																																																						
上北地区統合校	普通		2	+2																																																																																					
	農業		4	+4																																																																																					
十和田西高校	普通	1	0	△1																																																																																					
	商業	1	0	△1																																																																																					
六戸高校	普通	2	0	△2																																																																																					
三本木農業高校	農業	5	0	△5																																																																																					
十和田工業高校	工業	5	4	△1																																																																																					
三沢商業高校	商業	4	3	△1																																																																																					
計		43	34	△9																																																																																					

各地区の学校配置等に関する基本的な方向性（下北地区）

基本方針	第1期実施計画	取組状況																																											
<p>下北地区</p> <p>〈中学校卒業予定者数：H29 689人 → H34 (R4) 578人(△111)〉</p> <p>〈期間内学級数の増減：△3～△4学級〉</p> <table border="1" data-bbox="448 1088 828 1906"> <thead> <tr> <th rowspan="2">学校・学科</th> <th colspan="2">年度・学級数等</th> <th colspan="2">第1期</th> </tr> <tr> <th colspan="2">第3次 H29</th> <th>H34 (R4)</th> <th>期間内増減</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">田名部高校</td> <td>普通</td> <td>4</td> <td>5</td> <td>+1</td> </tr> <tr> <td>英語</td> <td>1</td> <td>0</td> <td>△1</td> </tr> <tr> <td>大湊高校</td> <td>総合</td> <td>5</td> <td>4</td> <td>△1</td> </tr> <tr> <td>川内校舎</td> <td>普通</td> <td>1</td> <td>0</td> <td>△1</td> </tr> <tr> <td>大間高校</td> <td>普通</td> <td>2</td> <td>※ 2</td> <td></td> </tr> <tr> <td>むつ工業高校</td> <td>工業</td> <td>4</td> <td>3</td> <td>△1</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td></td> <td>17</td> <td>14</td> <td>△3</td> </tr> </tbody> </table> <p>※ 地域校の規模・配置は、基本方針に定める基準等により対応</p>	学校・学科	年度・学級数等		第1期		第3次 H29		H34 (R4)	期間内増減	田名部高校	普通	4	5	+1	英語	1	0	△1	大湊高校	総合	5	4	△1	川内校舎	普通	1	0	△1	大間高校	普通	2	※ 2		むつ工業高校	工業	4	3	△1	計		17	14	△3	<p>下北地区</p> <p>〈中学校卒業予定者数：H29実績 689人 → R4 見込み 573人(△116)〉</p> <p>○ 第1期実施計画どおりの学校配置を実施</p> <ul style="list-style-type: none"> 田名部高校を重点校として配置 田名部高校への単位制の導入 定時制課程の維持 <p>【募集停止】</p> <p>大湊高校川内校舎（令和元年度）</p> <p>【学級減】</p> <p>大湊高校（令和2年度） むつ工業高校（令和2年度）</p> <p>※ 田名部高校英語科の学科改編は令和元年度実施</p>	
学校・学科		年度・学級数等		第1期																																									
	第3次 H29		H34 (R4)	期間内増減																																									
田名部高校	普通	4	5	+1																																									
	英語	1	0	△1																																									
大湊高校	総合	5	4	△1																																									
川内校舎	普通	1	0	△1																																									
大間高校	普通	2	※ 2																																										
むつ工業高校	工業	4	3	△1																																									
計		17	14	△3																																									

各地区の学校配置等に関する基本的な方向性（三八地区）

基本方針	第1期実施計画	取組状況																																																																																					
<p>三八地区</p> <p>〈中学校卒業予定者数：H29 2,870人 → H34 (R4) 2,452人(△418)〉</p> <p>〈期間内学級数の増減：△5～△7学級〉</p> <table border="1" data-bbox="448 1093 1118 1906"> <thead> <tr> <th rowspan="2">学校・学科</th> <th colspan="2">年度・学級数等</th> <th colspan="2">第1期</th> </tr> <tr> <th>第3次</th> <th>H29</th> <th>H34 (R4)</th> <th>期間内増減</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>八戸高校</td> <td>普通</td> <td>6</td> <td>6</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>八戸東高校</td> <td>普通 表現</td> <td>5</td> <td>5</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>八戸北高校</td> <td>普通</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>八戸西高校</td> <td>普通 スポーツ科学</td> <td>4</td> <td>※1 4～5</td> <td>0～+1</td> </tr> <tr> <td>三戸高校</td> <td>普通</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>五戸高校</td> <td>普通</td> <td>2</td> <td>2</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>田子高校</td> <td>普通</td> <td>1</td> <td>※2</td> <td>+1</td> </tr> <tr> <td>名久井農業高校</td> <td>農業</td> <td>3</td> <td>2</td> <td>-1</td> </tr> <tr> <td>八戸水産高校</td> <td>水産</td> <td>3</td> <td>3</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>八戸工業高校</td> <td>工業</td> <td>7</td> <td>6</td> <td>-1</td> </tr> <tr> <td>八戸商業高校</td> <td>商業</td> <td>4</td> <td>3</td> <td>-1</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td></td> <td>45</td> <td>39～40</td> <td>△5～△6</td> </tr> </tbody> </table> <p>※1 五戸高校については、県立高校として平成32年度（令和2年度）に募集停止する予定とし、同校の設置主体の変更等については、その状況に応じて適切に対応 このことに伴う八戸西高校の第1期実施計画期間内の学級数の幅を設定</p> <p>※2 地域校の規模・配置は、基本方針に定める基準等により対応</p>	学校・学科	年度・学級数等		第1期		第3次	H29	H34 (R4)	期間内増減	八戸高校	普通	6	6	0	八戸東高校	普通 表現	5	5	0	八戸北高校	普通	1	1	0	八戸西高校	普通 スポーツ科学	4	※1 4～5	0～+1	三戸高校	普通	1	1	0	五戸高校	普通	2	2	0	田子高校	普通	1	※2	+1	名久井農業高校	農業	3	2	-1	八戸水産高校	水産	3	3	0	八戸工業高校	工業	7	6	-1	八戸商業高校	商業	4	3	-1	計		45	39～40	△5～△6	<p>三八地区</p> <p>〈中学校卒業予定者数：H29 実績 2,872人 → R4 見込み 2,435人(△437)〉</p> <p>○ 第1期実施計画どおりの学校配置を実施</p> <ul style="list-style-type: none"> ・八戸高校を重点校として配置 ・八戸工業高校（工業科）を拠点校として配置 ・定時制課程・通信制課程の維持及び工業技術科の募集停止 <p>【募集停止】</p> <table border="1" data-bbox="624 282 703 1021"> <tr> <td>五戸高校</td> <td>(令和2年度)</td> </tr> <tr> <td>田子高校（地域校）</td> <td>(令和2年度)</td> </tr> </table> <p>【学級増】</p> <table border="1" data-bbox="783 282 831 1021"> <tr> <td>八戸西高校</td> <td>(令和2年度)</td> </tr> </table> <p>【学級減】</p> <table border="1" data-bbox="871 282 1031 1021"> <tr> <td>三戸高校</td> <td>(令和3年度予定)</td> </tr> <tr> <td>名久井農業高校</td> <td>(令和2年度)</td> </tr> <tr> <td>八戸工業高校</td> <td>(令和3年度予定)</td> </tr> <tr> <td>八戸商業高校</td> <td>(平成30年度)</td> </tr> </table> <p>《定時制課程工業技術科募集停止》</p> <table border="1" data-bbox="1110 618 1158 1021"> <tr> <td>八戸工業高校</td> <td>(令和3年度予定)</td> </tr> </table> <p>《五戸高校について》</p> <p>○ 五戸町の「五戸高校存続のため、設置主体を含めたあらゆる検討を行う。」との要望を重く受け止め、県立高校としては平成32年度（令和2年度）に募集停止する予定とし、同校の設置主体の変更等については、その状況に応じて適切に対応することとした。</p> <p>○ 平成30年3月、五戸町において、町立化等を含めた五戸高校の設置主体変更について断念する旨公表。→ 令和2年度募集停止</p>	五戸高校	(令和2年度)	田子高校（地域校）	(令和2年度)	八戸西高校	(令和2年度)	三戸高校	(令和3年度予定)	名久井農業高校	(令和2年度)	八戸工業高校	(令和3年度予定)	八戸商業高校	(平成30年度)	八戸工業高校	(令和3年度予定)	<p>取組状況</p>
学校・学科		年度・学級数等		第1期																																																																																			
	第3次	H29	H34 (R4)	期間内増減																																																																																			
八戸高校	普通	6	6	0																																																																																			
八戸東高校	普通 表現	5	5	0																																																																																			
八戸北高校	普通	1	1	0																																																																																			
八戸西高校	普通 スポーツ科学	4	※1 4～5	0～+1																																																																																			
三戸高校	普通	1	1	0																																																																																			
五戸高校	普通	2	2	0																																																																																			
田子高校	普通	1	※2	+1																																																																																			
名久井農業高校	農業	3	2	-1																																																																																			
八戸水産高校	水産	3	3	0																																																																																			
八戸工業高校	工業	7	6	-1																																																																																			
八戸商業高校	商業	4	3	-1																																																																																			
計		45	39～40	△5～△6																																																																																			
五戸高校	(令和2年度)																																																																																						
田子高校（地域校）	(令和2年度)																																																																																						
八戸西高校	(令和2年度)																																																																																						
三戸高校	(令和3年度予定)																																																																																						
名久井農業高校	(令和2年度)																																																																																						
八戸工業高校	(令和3年度予定)																																																																																						
八戸商業高校	(平成30年度)																																																																																						
八戸工業高校	(令和3年度予定)																																																																																						

<4 魅力ある高等学校づくりに向けて>
○ 青森県立高等学校将来構想検討会議答申

- 1 学校・家庭・地域等との連携の推進
 - ◇高校間の連携 ◇小学校や中学校との連携 ◇特別支援学校との連携
 - ◇大学等との連携 ◇家庭・地域等との連携
- 2 教育活動の充実に向けた取組
 - ◇各学校の魅力化と情報発信 ◇教員の資質向上と教職員定数等の見直し
 - ◇ICTの活用による教育活動の充実 ◇施設・設備の充実 ◇全国からの生徒募集
- 3 本県高等学校教育の充実に向けた継続的な検証

基本方針	第 1 期実施計画	取組状況
<p>学校・家庭・地域等との連携の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 各高校間の連携の推進 ○ 小・中学校、特別支援学校との連携の推進 ○ 大学等との連携の推進 ○ 家庭・地域等との連携の推進 		<p>○ 基本方針を踏まえ実施</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 高校間の連携（重点校、拠点校を中心とした各校との事業実施） ・ 小・中学校、特別支援学校との連携 ・ 大学等との連携（大学との連携協定実施等） ・ 家庭・地域等との連携（自らの住む地域を学び、地域を知る取組等の実施）
<p>教育活動の充実に向けた取組</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 中学生の進路選択に資するための各高校における充実した情報発信の支援 ○ 教員の資質向上のための研修の充実 ○ スクールカウンセラーやスクールソーシャルワーカー等専門スタッフの配置の充実及び専門スタッフの配置や教職員配置の充実等に係る国に対する働きかけ ○ ICTの活用による教育活動の充実及び施設・設備の整備 		<p>○ 基本方針を踏まえ実施</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 各高校ホームページを活用した情報発信等の実施 ・ 学校教育センターにおける教員研修の充実 ・ スクールカウンセラー、スクールソーシャルワーカーの拡充 ・ 専門スタッフの配置及び教職員配置の充実等に係る国への要望実施 ・ ICTを活用した事業等を実施 （未来社会を切り拓く高校生の資質・能力育成事業） <p>〔研究指定校による実践研究（ICTを活用した情報活用能力の育成を図る授業実践）や研究成果発表会の実施により、地域課題解決に向かう資質・能力の育成を推進〕</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 統合校における必要な実習室等の施設・設備の整備

県民の理解と協力の下での県立高等学校教育改革の推進

基本方針	第1期実施計画	取組状況
<p>○ 多くの県民の理解が得られるよう、実施計画の策定に向けた幅広い情報提供及び意見の聴取等の実施</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域の意見を聴取するための地区意見交換会（仮称）の開催 ・計画案公表後におけるパブリック・コメント、地区懇談会、市町村等への意見照会等の実施 <p>○ 県立高等学校教育改革の成果や有効性についての継続的な検証</p> <ul style="list-style-type: none"> ・生徒や保護者等を対象とした高校教育に関する意識調査等による検証 ・必要に応じて基本方針を見直し 	<p>推進計画の進捗管理</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 高校教育を巡る環境の変化や中学校卒業業者数の見込み、生徒の志願・入学状況等を確認の上、第1期実施計画の取組状況について検証し、必要に応じて実施計画を見直し ○ これまで翌年度分を公表してきた募集人員について、中学生が見通しを持って進路選択できよう、翌々年度分の見込みを含め公表 <p>第2期実施計画の策定</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 第2期実施計画の策定に当たっては、地区意見交換会を開催するなど、地域の意見を聴取しながら検討し、平成33年度の決定を目標 	<p>○ 基本方針どおり実施</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地区意見交換会の開催 平成28年9月～平成29年1月まで各地区3開催 ・第1期実施計画案に関するパブリック・コメントの実施 平成29年4月27日～6月5日（40日間） ・第1期実施計画案に関する地区懇談会の開催 平成29年5月～6月（県内6地区延べ17回開催） ・市町村等の意見照会等 平成28年10月～平成29年1月県内40市町村を訪問の上、首長等の意見を聴取 ・ホームページ等による情報提供及び意見募集 <p>○ 基本方針・第1期実施計画どおり実施</p> <ul style="list-style-type: none"> ・毎年中学校卒業予定者数等を確認した上で、第1期実施計画に基づく取組を実施 ・青森県立高等学校教育改革推進計画基本方針検証会議の設置による第1期実施計画等の進捗確認・検証 ・生徒や保護者等を対象とした意識調査を実施 ・平成29年10月から翌々年度分の募集人員の見込みを公表 ・地区意見交換会を令和2年度実施（予定） ・令和3年度の策定に向けた取組の推進